自主学習のすすめ〈中学校英語科（例）〉

１　ねらい

１人1台端末を活用して、英語による「聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと」の機会を増やすことで、興味・関心や自分のペースに合わせて学習を進め、家庭学習を充実させる。

２　活動例

(1)学習者用デジタル教科書を活用した家庭学習の例

・予習として、単元のトピックに関する動画を視聴したり、場面に関するやり取りを聞いたりする。単元の終末に目指す姿の例として、発表ややり取りの参考にすることができる。

・授業中の言語活動の中間指導やまとめの時にシェアリングした表現を、既習の単元から見付けて、発音練習する。その表現を使って、自分が伝えたいことを考え、次の授業で使ってみる。

・復習として、授業中に概要を捉えた本文を聞いたり音読したりする。速さを変えたり、間隔を調整したりして、自分のペースに合わせて学習を進める。

(2)学習支援ソフト等を活用した家庭学習の例

・スピーチ等を授業中に練習し、録音する。家で自分の発話を聞いてさらに練習し、再度録音する。聞いたり話したりすることを繰り返し、発表やパフォーマンステストに生かす。

・ALT等に協力してもらい、まとまりのある英文や質問を話したり書いたりしたものを、生徒に配信する。生徒は配信された内容に関して、感想や自分の考え、質問の答え等を話したり書いたりする。提出してALTに確認してもらうのもよい。

(3)文部科学省「中学校外国語における学習支援コンテンツ」を活用した家庭学習の例

( <https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/mext_00065.html> )

　・中学校外国語教材「Bridge」PDFダウンロードサイト（文部科学省）

 中学校外国語教材「Bridge」を題材として、読んだり聞いたりして、概要を捉え、設問に挑戦

する。

・えいごネット（一般社団法人英語教育協議会、文部科学省協力）

「やさしく読める英語ニュース」の記事を読んだり聞いたりして、ニュースの概要を捉える。

・NHKゴガク（NHK）

「エンジョイ　シンプル　イングリッシュ」を聞いて、物語やエッセイの概要を捉える。

(4)その他の家庭学習の例

・全国学力・学習状況調査や英検各級の過去の問題にアクセスして、いろいろな問題に挑戦してみる。自身の英語力を確認することができる。

・小学校外国語科の復習をする。NHKのEテレやラジオの英語番組を活用し、小学校で出てくる英語表現を扱った番組を視聴する。英語表現に慣れ親しむだけでなく、外国に住む人々の暮らしや習慣、学校生活等について、日本と比較しながら学ぶことができる。

・英語に関する動画サイトを視聴する。世界中の様々な問題に関する講演や有名人のスピーチ、外国人が日本に来た感想や日本文化を紹介する番組等を活用して、

本物の英語に触れ、視野を広げることができる。